



芦安中学校だより

第 6 号

校 長

2023. 10. 16

PTA学校林整備 ～間伐と枝打ち～

9月25日（月）に、「PTA学校林整備」を行いました。4月に続いて2回目の活動です。1回目は学校の南側の斜面を約1時間ほど登った場所で、桜の植樹を行いました。今回は小学校のすぐ南側で、ヒノキの間伐や枝打ち作業を行いました。芦安ファンクラブの清水さんと吉沢さんにご指導をいただき、中学生はチェーンソーやのこぎりで木を切る体験をしたり、倒した木から枝を払ったりしました。また、「輪かんじき」で使う枝を切り揃えたり、ヒノキを学校まで運びました。保護者の方々にもご参加いただき、森林を整備することの意義を学ぶことができました。

学校林は、昭和20年代に児童・生徒や保護者の奉仕活動によって森林を造成し、将来その収益を学校施設改善の財源に充てていくという目的で盛んに造成されるようになりました。芦安中でも、植樹を行い、成長した木を伐採して校舎に利用したこともありました。自然豊かな山梨県ですが、いつもある身の回りの自然の豊かさを価値のあるものとして見るができなくなりつつあります。このため、この身近な素晴らしい自然を、次の世代に受け継いでいく子どもたちを育てるため、授業や校外学習で、森林に入る経験を通じて自然の仕組みや山の文化を学習する機会が大切です。持続可能な社会づくりのため、コミュニケーション能力や課題解決能力を高める教育（ESD）の重要性が認識されており、発見学習やグループワーク等を通した「アクティブラーニング」（主体的・協働的な学びの過程）の充実が求められています。芦安小中学校では、大変意義のある活動であるため、学校の特色として継続的に行っています。



輪かんじきづくり

10月6日（金）に、学校林整備で伐採した木の枝を使って輪かんじきづくりの1回目を行いました。芦安ファンクラブ清水さんをはじめ4名の方にご協力いただき、朝から校庭でドラム缶に水を張り、沸騰させた中に枝を3時間ほど煮詰めました。充分柔らかくなった枝を取り出し、皮を剥いたあと折れないように慎重に曲げる作業を行いました。2回目は11月に行って完成させる予定です。



中巨摩新人大会 ～バドミントン部～

中巨摩新人大会が10月12日（木）に行われました。バドミントン部は、1・2年から1名ずつ参加しました。ダブルス第3位、シングルス第3位という成績を収めました。デビュー戦でしたが、大きな成長を感じさせる戦いぶりでした。前日には3年生を中心に壮行会が行われ、歌やメッセージで選手を激励してくれました。3年生からバトンを受け継いだ選手による決意表明もあり、学校全体からの応援を励みに実力を発揮することができました。

